未来を造る人に 次世代の「はかる」を

HACARUS

報道関係者各位

2026年11月11日
株式会社HACARUS

HACARUS、生成AIの現場実装を担う新サービス「HACARUS FDE」を提供開始

～エンジニアが課題の特定から開発・運用定着まで一貫支援。2週間を目安とする「FDE診断」で、現場での活用可能性を検証～



株式会社HACARUS（本社：京都市中京区、代表取締役CEO：染田貴志）は、エンジニアが顧客の現場に入り、生成AIを活用した業務改善の課題発見から、試作・検証、導入・運用定着までを一貫して支援する新サービス「HACARUS FDE」を、2026年11月11日より提供開始します。

FDEは「Forward Deployed Engineer」の略称です。米国のAI・ソフトウェア企業などで採用が進む職種で、顧客の業務現場に入り、課題を把握し、その解決に向けたシステムの開発・導入を担うエンジニアを指します。本サービスでは、顧客を担当するFDEとHACARUSの技術チームが連携し、業務の流れや社内資料、担当者の知見を確認しながら、クラウドの生成AIや、社内・閉域環境で動かすローカルの生成AIを使い分け、業務に対応したシステムを開発します。現場での検証と改善を繰り返し、生成AIの継続的な業務活用と運用定着を支援します。

契約後は、2週間を目安とする「FDE診断」から着手します。対象とする課題を絞り、試作品を現場で使用しながら、回答の正確性や利用状況、効果の見込みを評価します。その結果をもとに、検証の継続や本導入を判断するための材料を提示します。

■ サービス提供の背景

生成AIの業務活用では、対象業務の選定、社内データや業務手順との連携、情報管理・セキュリティへの対応、組織的な利用の定着、効果の検証などが課題となります。HACARUS FDE

は、こうした課題を抱える企業に向け、業務の理解から開発、現場での検証、運用改善までを一貫して支援するサービスです。
　HACARUSは、製造・建設・インフラなどの分野で、データの取得からAIモデル開発、既存システムとの連携までを支援してきました。こうした経験を生かし、現場の課題と技術の両面を理解するエンジニアが、顧客とともに実装・改善を進める支援体制を提供します。

■「**HACARUS FDE**」の主な特長

1. 課題の特定から開発・検証、導入・運用定着までを一貫して支援
現場業務の確認や担当者との対話を通じて課題を把握し、取り組む対象と解決方法を顧客と整理します。その後、試作品の開発、現場での検証、業務への組み込み、運用改善まで、すべての段階にFDEが参画します。システムの開発・導入に加え、顧客の社内で継続して運用できる体制の整備までを支援します。
2. 製造・建設・インフラの現場で培った実装経験と、**FDE**・技術チームの連携
HACARUSは、製造・建設・インフラなどの分野で、これまでに累計700件以上のAIプロジェクトに携わり、データの取得からAIモデル開発、既存システムとの連携までを支援してきました。こうした経験を生かし、顧客の現場に入るFDEと技術チームが連携して、業務上の課題と技術的な制約の両面から解決方法を検討します。FDEが確認した業務知見や、試作品に対する現場のフィードバックを開発・改善に反映し、実際の業務で使い続けられる仕組みづくりを支援します。
3. クラウドから社内・閉域環境まで、データの取り扱いに応じた実行環境の選択
特定の実行環境を前提とせず、業務内容、取り扱う情報、既存の業務ツール、ネットワーク環境などを確認して構成を検討します。既存のクラウド生成AIサービスの活用に加え、機密情報を社外に出せない業務や、インターネットに接続しない閉域環境では、社内の機器で生成AIを動かすオンプレミス環境にも対応します。製造現場などで培ってきた、ネットワークにつながない機器の中でAIを動かす技術を生かします。サービスの選定から社内資料との接続、アクセス権限や利用ルールの整理まで支援します。

■ 小さく始め、効果を確かめながら段階的に導入
　まずは2週間を目安とする「FDE診断」で対象課題を一つに絞り、試作品を現場で使用して、回答の正確性や効果の見込みを確認します。その結果を踏まえ、限定した範囲での検証から本導入へと段階的に進めます。各段階で得られた結果をもとに、次の段階への移行、計画の見直し、取り組みの終了を顧客と判断できるため、活用可能性を確かめながら導入範囲を広げられます。

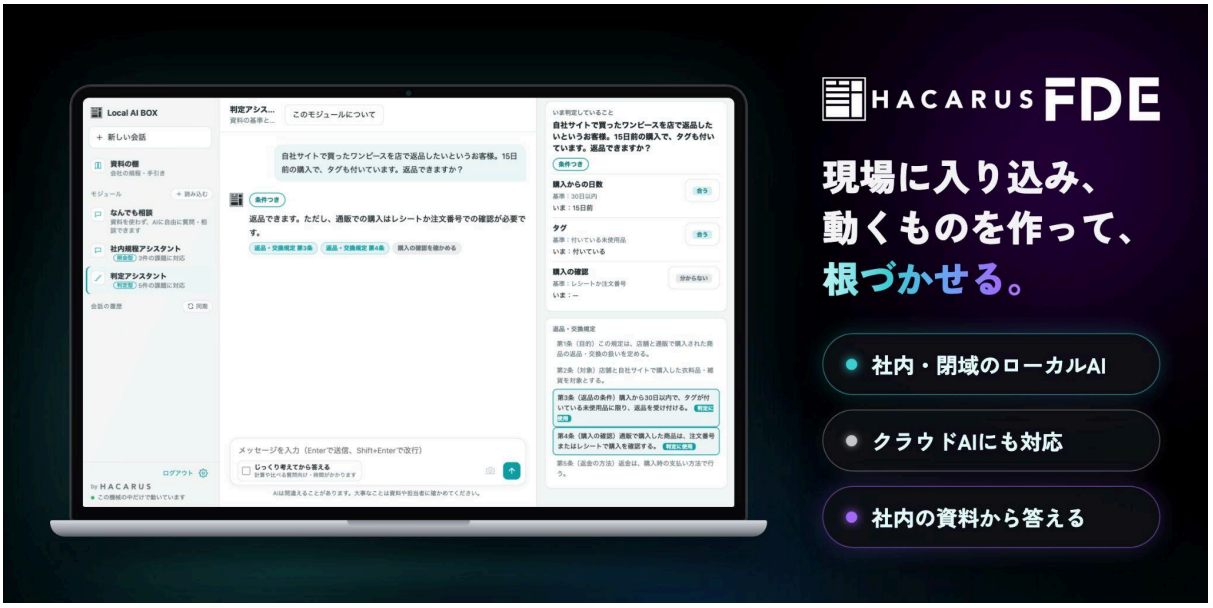
段階	期間の目安	主な支援内容
FDE診断	2週間	対象課題の絞り込み、資料・知見の確認、試作品の現場評価、効果の見込みの整理
検証	1～2か月	店舗・部署などの限定した範囲で実際に利用し、効果を測定
本導入	2～4か月	業務の流れへの組み込み、本番環境の整備
運用・定着	継続	利用状況に応じた改善、社内で運用できる体制づくり

※期間は目安です。課題と規模に合わせて調整します。

各段階で、次の段階への移行、計画の見直し、取り組みの終了を顧客と判断します。期間は目安であり、対象課題や規模、データの状況に応じて調整します。なお、2週間のFDE診断は、本導入の完了を意味するものではありません。

■ 想定する利用部門と活用例

主な利用部門として、生成AI活用を推進するDX・情報システム部門と、店舗運営、総務、設備保全などの業務改善を担う部門を想定しています。特に、必要な情報が複数の資料に分散している業務や、問い合わせ・判断が特定の担当者に集中している業務での活用を提案します。



- 店舗運営・接客支援
  商品情報、売場マップ、キャンペーン要項などを活用し、写真からの型番確認や売場案内、適用可能なキャンペーンの確認を支援します。資料では、会話から必要な情報を読み取り、確認事項へ反映する接客支援アプリの試作品も紹介しています。
- 総務・人事・社内ヘルプデスク
  社内規程や手続きに関する質問に対し、根拠となる資料を参照して回答する仕組みを構築します。規程に記載のない質問は担当者の確認につなげ、その回答を次の問い合わせ対応に活用する運用を想定しています。
- 製造・設備保全
  手順書や過去の故障記録から類似事例を検索し、対応手順の確認を支援します。音声による手順案内や、作業内容をもとにした保全記録の下書き作成など、作業中の情報参照と記録を支える仕組みを想定しています。ネットワークに接続しない現場での利用にも対応します。

■ 代表取締役**CEO** 染田貴志 コメント

生成AIを業務改善につなげるには、現場で働く方々の困りごとを理解し、日々の仕事の中でスピーディに役立つ形にすることが重要だと考えています。社内に蓄積された資料や、一人ひとりが培ってきた経験・知識を、必要なときに活用できるようにする。そのためには、技術と業務の両面から、現場の方々とともに業務改善に取り組むことが欠かせません。

HACARUSはこれまで、製造・建設・インフラなどの現場で、お客様とともにAIの実装に取り組

んできました。HACARUS FDEでは、その経験を生かし、現場で働く方々の経験や知識を生成AIがフル活用できる環境づくりをお手伝いすることを通じて、業務効率の改善や売上向上の実現を目指します。

■ サービス概要

サービス名	HACARUS FDE
提供開始日	2026年11月11日
提供内容	生成AIを活用した課題発見、試作・検証、業務への導入、運用・定着支援（クラウド／社内・閉域環境に対応）
支援体制	顧客の現場に入るFDEと、HACARUSの技術チームが連携
契約前の相談	相談・ヒアリング・提案は無料
料金	お問い合わせください
サービスページ	https://hacarus.com/ja/fde/
サービスに関するお問い合わせ	sales@hacarus.com

株式会社**HACARUS**について
『未来を造る人に 次世代の「はかる」を』というミッションを掲げ、少ないデータで、抜本的な問題解決につなげる「AIソリューション」を提供しています。2014年の設立から数多くの企業の問題解決に貢献してきた経験と独自の技術力で、人の知見を資産化し、オペレーションの効率化・省人化を成功させます。データの取得から既存システムとの連携までを一貫して支援し、人間とAIが共存する未来の実現に取り組んでいます。

本社：京都府京都市中京区高宮町206 御池ビル8階
設立：2014年1月
代表者：代表取締役CEO 染田貴志
資本金：1億円
URL：https://hacarus.com/ja/